

## 建設機械市場の現状

### 1. 建設機械出荷金額推移

過去7年間の「建設機械出荷金額実績（内需・外需）」の推移を表一に示す。

過去7年間の建設機械出荷金額は表一に示す通り、1996年度にピークの2兆170億円に達したが、以降急激な減少に転じ、2001年度の出荷金額合計は前年度比13%減少の1兆1,402億円であり、依然として下げ止まり傾向が見られない。

2001年度出荷実績の内訳を見ると、海外出荷は前年度比1.2%増の4,339億円やや上昇傾向が見られるが、国内

表一 建設機械出荷金額実績（内需・外需）

（百万円）

	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1998年度	2000年度	2001年度
トラクタ	内需	128,953	144,529	111,500	88,576	89,095	91,587
	外需	109,209	130,673	151,012	185,873	93,258	83,276
	計	238,162	275,202	262,512	274,449	182,353	174,863
油圧ショベル	内需	376,808	402,362	312,824	247,496	263,380	267,425
	外需	172,868	189,301	214,421	208,604	176,600	163,180
	計	549,676	591,663	527,245	456,100	439,980	430,605
ミニショベル	内需	131,932	140,899	113,169	84,133	82,904	77,058
	外需	17,968	15,988	25,405	34,978	45,808	48,200
	計	149,900	156,887	138,574	119,111	128,712	125,258
建設用クレーン	内需	247,535	290,949	235,651	146,524	121,583	114,087
	外需	35,341	43,155	52,596	33,711	26,689	15,814
	計	282,876	334,104	288,247	180,235	148,272	129,901
道路機械	内需	62,549	69,138	56,413	44,681	39,171	39,754
	外需	10,862	16,283	15,078	15,605	11,556	16,661
	計	73,411	85,421	71,491	60,286	50,727	56,415
コンクリート機械	内需	56,954	62,161	49,335	32,857	30,707	32,612
	外需	5,338	5,061	3,446	1,924	1,320	1,651
	計	62,292	67,222	52,781	34,781	32,027	34,263
トンネル機械	内需	59,064	65,755	63,684	53,323	40,213	38,231
	外需	2,426	3,142	2,568	5,895	2,734	2,902
	計	61,490	68,897	66,252	59,218	42,947	41,133
基礎機械	内需	44,318	41,789	31,437	20,466	19,882	18,067
	外需	4,580	2,638	2,147	986	986	994
	計	48,898	44,427	33,584	21,452	20,868	19,061
油圧ブレーカ・圧砕機	内需	24,090	25,503	19,816	15,120	15,435	15,563
	外需	5,226	6,433	8,116	8,105	8,375	7,391
	計	29,316	31,936	27,932	23,225	23,810	22,954
その他建設機械	内需	92,251	90,239	76,093	57,690	60,752	60,908
	外需	22,150	30,175	27,798	24,997	27,897	23,696
	計	114,401	120,414	103,891	82,687	88,649	84,604
補給部品	内需	156,471	166,352	156,443	138,426	128,335	126,242
	外需	69,018	74,430	82,118	66,029	60,474	64,871
	計	225,489	240,782	238,561	204,455	188,809	191,113
合計	内需	1,380,925	1,499,676	1,226,365	929,292	891,457	881,534
	外需	454,986	517,279	584,705	586,707	455,697	428,636
	計	1,835,911	2,016,955	1,811,070	1,515,999	1,347,154	1,310,170

参考：

- 道路機械：ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、平板式締固機械、アスファルトフィニッシャ、モータグレーダ、ロードスタビライザ、アスファルトプラント等
- コンクリート機械：コンクリートポンプ車、トラックミキサ車、コンクリートパイプレータ、コンクリートプラント等
- その他建設機械：ドリル、可搬式コンプレッサ、重ダンプトラック、不整地運搬車、建設廃棄物破砕機等

## 統計

出荷は前年度比19.9%減の7,062億円と大幅に減少した。特に国内建設機械市場の主力製品である油圧ショベル、建設用クレーンは大きく落込み、それぞれ前年度比29.3%減、22.4%減とこれまでにない低下率を示している。

### 2. 市場動向

#### (1) 国内市場

2001年度の国内向け出荷金額は表-1に示す通りすべての製品で前年度を下回り、総額で19.9%減と大きく落込んだが、特に国内建設機械市場においてこれまで出荷金額の約30%を占め、市場動向のバロメータとなっていた油圧ショベルは前年度比29.3%減の1,890億円とこれまでにない落込みを示している。

図-1に過去7年間の油圧ショベル国内出荷台数の推移を示す。

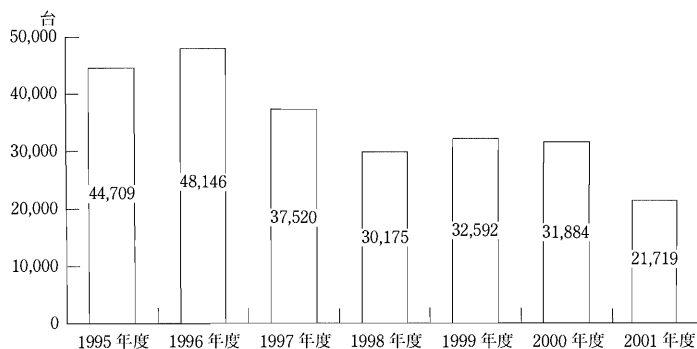


図-1 油圧ショベル国内出荷台数

景気低迷の中であって減少していた油圧ショベルの国内出荷台数は、1998年以降下げ止まりの傾向が見られ、市場は上向くと思われていたが、2001年度は前年度比31.9%減と大幅な減少を示し、国内建設機械市場の先行きが全く見えない状況となった。

現在、国内建設機械市場は完全に成熟したマーケットであることから、建設機械の需要は景気動向、建設投資等によって左右されていると考える。

図-2に過去7年間の建設機械出荷実績(内需)と建設投資(名目値)の推移を示す。

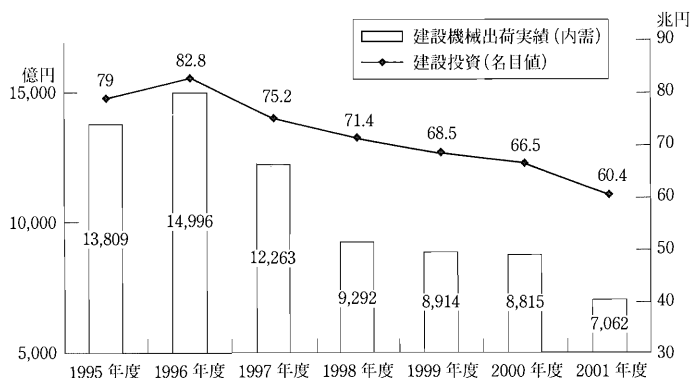


図-2 建設機械出荷実績(内需)/建設投資(名目値)

建設機械の国内出荷実績は図-2の通り、建設投資の増減とほぼ一致した推移を示しており、このことから我が国の建設投資動向はユーザの購入マインドを大きく刺激し、建設機械の国内需要に大きな影響を与えていると思われる。

(2) 海外市場

図-3 に過去7年間の建設機械海外出荷金額の推移、またコンポーネントを除いた建設機械完成品地域別輸出金額の推移を図-4 に示す。

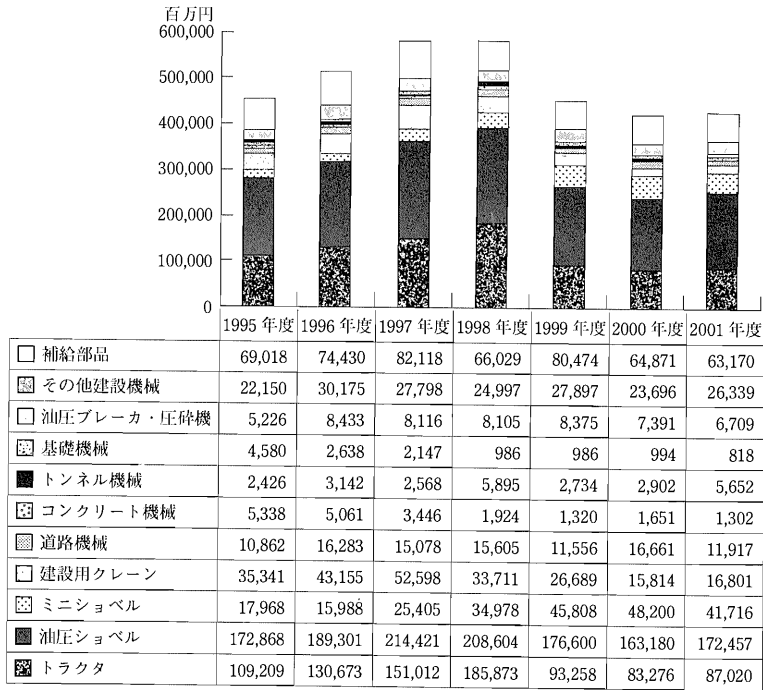


図-3 建設機械海外出荷金額

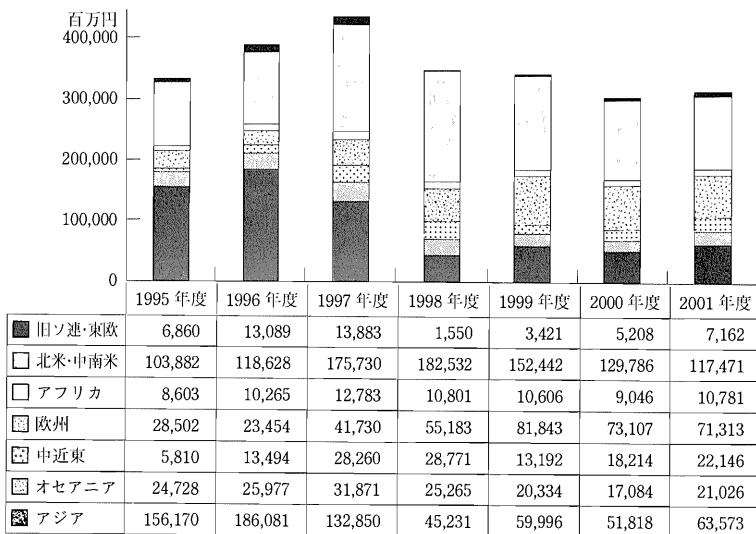


図-4 建設機械完成品地域別輸出金額

## 統 計

バブル崩壊以降、国内建設機械の各メーカは北米、アジア地区を中心に海外市場への出荷金額を伸ばして来たが、1999年度以降アジア地区の景気低迷、米国の景気減速感などから出荷金額は減少傾向を示していた。2001年度においてはアジア地区の景気回復を受けて、前年度比1.2%増の4,339億円と僅かながら上向きに転じた。

製品別では図-3の通り、国内建設機械市場と同様に油圧ショベルの出荷割合が増加しており、2001年度は出荷金額の39.7%を占め、海外市場においても油圧ショベル化が進んでいることを示している。

建設機械完成品の主要輸出先は図-4に示す通り、北米、欧州、アジアであるが、これら3大輸出先のうち北米向けは米国経済に陰りが見えていることから減少傾向が見られる。一方、アジア向け出荷は着実に回復傾向にあり、2001年度は前年度比22.7%増の635億円となった。

### 3. リース・レンタル動向

国内建設業界においては1980年代より各種建設用資材・機材のリース・レンタルへの依存率が増加しているが、建設機械においてもリース・レンタル化が進んでいる。

表-2に補助部品を除いた建設機械本体の業種別（リース・レンタル/その他）国内出荷金額実績の推移を示す。

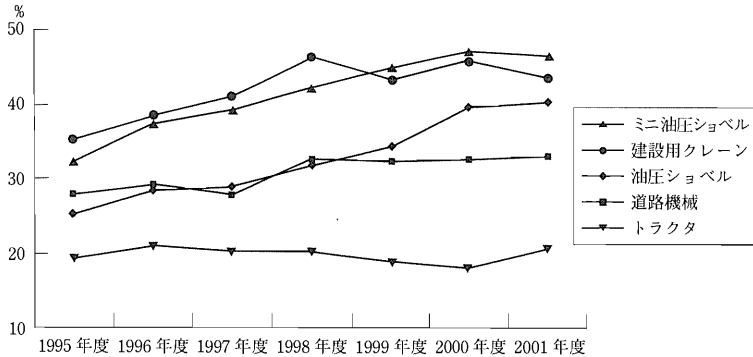
表-2 業種別(リース・レンタル/その他)国内出荷金額実績

(百万円)

		1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度
ト ラ ク タ	リース・レンタル	25,182	30,570	22,677	17,921	16,922	16,474	18,089
	そ の 他	103,771	113,959	88,823	70,655	72,173	75,113	69,478
	計	128,953	144,529	111,500	88,576	89,095	91,587	87,567
油 圧 シ ョ ベ ル	リース・レンタル	95,222	114,823	90,386	79,006	90,792	106,379	76,490
	そ の 他	281,586	287,539	222,438	168,490	172,588	161,046	112,477
	計	376,808	402,362	312,824	247,496	263,380	267,425	188,967
ミ ニ シ ョ ベ ル	リース・レンタル	42,794	52,921	44,601	35,660	37,434	36,470	29,080
	そ の 他	89,138	87,978	68,568	48,473	45,470	40,588	33,206
	計	131,932	140,899	113,169	84,133	82,904	77,058	62,286
建 設 用 ク レ ーン	リース・レンタル	87,597	112,153	97,142	67,921	52,738	52,444	38,668
	そ の 他	159,938	178,796	138,509	78,603	68,845	61,643	49,841
	計	247,535	290,949	235,651	146,524	121,583	114,087	88,509
道 路 機 械	リース・レンタル	17,489	20,238	15,775	14,623	12,717	13,046	11,705
	そ の 他	45,060	48,900	40,638	30,058	26,454	26,708	23,477
	計	62,549	69,138	56,413	44,681	39,171	39,754	35,182
コ ン ク リ ー ト 機 械	リース・レンタル	5,434	4,102	3,198	2,623	2,729	2,718	2,858
	そ の 他	51,520	58,059	46,137	30,234	27,978	29,894	21,929
	計	56,954	62,161	49,335	32,857	30,707	32,612	24,787
ト ン ネ ル 機 械	リース・レンタル	3,931	1,020	2,432	2,348	2,312	1,928	1,761
	そ の 他	55,133	64,735	61,252	50,975	37,901	36,303	26,742
	計	59,064	65,755	63,684	53,323	40,213	38,231	28,503
基 礎 機 械	リース・レンタル	1,943	2,011	2,674	1,744	2,733	2,466	1,083
	そ の 他	42,375	39,778	28,763	18,722	17,149	15,601	13,184
	計	44,318	41,789	31,437	20,466	19,882	18,067	14,267
油 圧 プ レ ー カ ・ 圧 碎 機	リース・レンタル	1,856	2,641	1,720	4,182	4,520	3,949	1,625
	そ の 他	22,234	22,862	18,096	10,938	10,915	11,614	12,183
	計	24,090	25,503	19,816	15,120	15,435	15,563	13,808
そ の 他 建 設 機 械	リース・レンタル	28,473	32,258	27,397	20,959	20,018	19,570	15,174
	そ の 他	63,778	57,981	48,696	36,731	40,734	41,338	31,436
	計	92,251	90,239	76,093	57,690	60,752	60,908	46,610
本 体 計	リース・レンタル	309,921	372,737	308,002	246,987	242,915	255,444	196,533
	そ の 他	914,533	960,587	761,920	543,879	520,207	499,848	393,953
	計	1,224,454	1,333,324	1,069,922	790,866	763,122	755,292	590,486

表-2に示す通り、国内へ出荷される建設機械の内、リース・レンタル業へ出荷される比率は年々増加し、2001年度は本体出荷金額合計の33.3%を占めている。

また、製品別の推移として図—5のリース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）に示す通り、これまでリース・レンタル業への出荷比率が高かったミニ油圧ショベル、建設用クレーンは近年やや頭打ちの傾向が見られる。



図—5 リース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）

なお、2001年度建設用クレーンのリース・レンタル業向け出荷金額比率は前年度比2.3%減となっているが、これは都市再開発事業に対する設備投資がゼネコン主体に進められたためと考える。

一方、国内市場の主力製品である油圧ショベルは現在も増加傾向を示しており、国内建設機械市場は今後共リース・レンタル業への依存度が高くなるものと思われる。

#### 4. 中古車市場動向

建設機械の中古車市場動向は、新車の国内市場動向にも密接に関係している。これは新車販売時における下取り、或いは新車と中古車との競合などの実際の取引の場だけではなく、国内外を含めた中古車市場の動きによって国内の新車需要に大きな影響を与えていると言ってもよい。国内新車市場が縮小しつつある現状においてはますますその影響は大きくなって来ている。

過去6年間の中古車発生・新車販売台数（主要6機種）を図—6に、中古車需要の国内・海外構成（主要6機種）を図—7に示す。

なお、主要6機種とは油圧ショベル、ミニショベル、クローラトラクタ、ホイールローダ、クローラクレーン、ラフテレーンクレーンである。トラッククレーン、締固め機械、高所作業車の3機種はデータが不十分であり除外した。

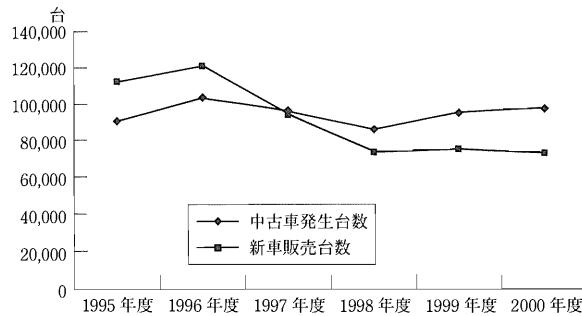
図—6に示す通り、1997年度に中古車発生台数が新車販売台数を上廻って以来、今日までこの傾向が続いている。

これはユーザが不要機械処分のために、新車購入1台に対して複数台数の下取り、或いは中古車業者への直接売却等の対策をしているためと思われる。また最近の建設機械の保有形態が、所有からレンタルへと動いていることから今後当分はこの傾向が続くものと思われる。

中古車の需要面においては、図—7に示す通り国内需要は減少しているが、海外需要は1999年度に大幅な増加が見られ、続く2000年度においては更に増加し、49,170台と過去最高を記録した。

国別においては香港の伸びとシェアが大きく、特に油圧ショベルのウェイトが高い。これは香港から中国本土市場に流れる車両が増加しているものと思われる。その他では欧州、マレーシア、タイなどが大きく伸び、反面、米国については10%程度減少している。

## 統計



	1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度
中古車発生台数	90,670	103,290	95,540	85,375	94,315	96,655
新車販売台数	112,200	120,800	94,100	73,350	74,650	72,110
中古車/新車	80.8%	85.5%	101.5%	116.4%	126.3%	134.0%

図-6 中古車発生・新車販売台数（主要6機種）

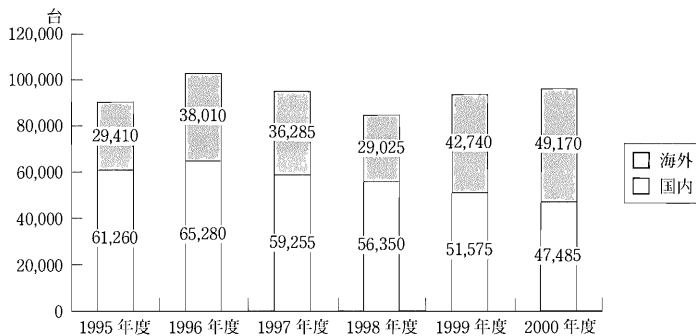


図-7 中古車需要の国内・海外構成（主要6機種）

結果として、2000年度は国内で発生した中古車に対する全需要台数の半分以上（50.9%）を海外需要が占めることになったが、これは初めてのことである。今後も国内の建設投資が減少する見通しであるため、中古車の国内市場も縮小し、海外依存率はますます大きくなるものと思われる。

また中古車の販売形態として、大規模なオークションやインターネットオークションが定着してきた。特にインターネットオークションについては、IT化の進捗と共に「自宅・事務所でオークションに参加」出来ることから、今後もインターネットを利用した販売量の増加が期待される。

### 5. 建設機械市場の今後の見通し

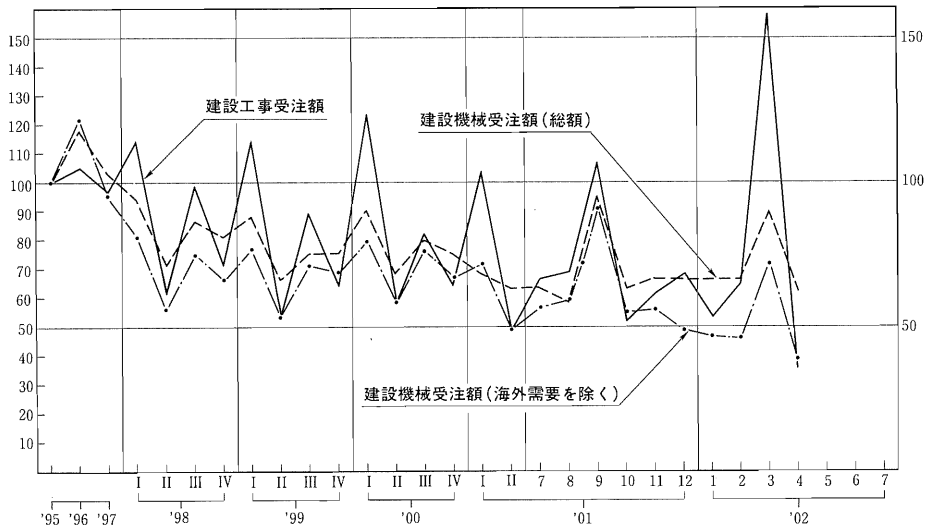
国内建設機械市場はバブル崩壊以降、景気の後退、建設投資の減少により需要低迷が続いており、特に大口の需要家であるリース・レンタル業者が設備投資を控えていることから当面大きな回復は期待できない。

海外市場においてはアジア地区の経済回復、中国市場の開拓等明るい材料があり、今後需要回復が期待できるが、一方、米国景気の不透明感等により楽観できない状況が続くものと思われる。

なお、上記掲載統計諸資料は社団法人日本建設機械工業会発表の統計資料による。

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査(大手50社) (指数基準 1995年平均=100)  
 建設機械受注額：機械受注統計調査(建設機械企業数26前後) (指数基準 1995年平均=100)



建設工事受注動態統計調査(大手50社)

(単位：億円)

年 月	総 計	受 注 者 別						工 事 種 類 別		未 消 化 工 事 高	施 工 高
		民 間			官 公 庁	そ の 他	海 外	建 築	土 木		
		計	製 造 業	非 製 造 業							
1995年	194,524	110,954	17,326	93,627	66,793	5,679	11,098	117,867	76,657	219,214	200,862
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2001年 4月	6,283	4,146	966	3,180	1,373	488	277	3,954	2,330	175,139	11,850
5月	7,646	4,860	1,120	3,740	1,826	458	502	4,844	2,803	172,912	11,155
6月	10,138	5,995	1,250	4,745	2,926	565	653	6,486	3,652	172,082	11,801
7月	10,867	7,487	1,113	6,373	2,634	482	265	7,902	2,965	171,465	11,567
8月	11,207	6,562	937	5,626	3,776	471	398	7,144	4,064	171,309	11,461
9月	17,379	11,810	1,687	10,123	4,314	670	585	12,660	4,719	173,405	15,672
10月	8,409	5,266	903	4,363	2,435	425	283	5,247	3,161	170,074	11,723
11月	9,871	6,037	787	5,250	2,287	503	1,044	6,761	3,110	166,755	13,153
12月	10,957	6,813	893	5,920	3,113	562	468	7,301	3,656	162,832	14,674
2002年 1月	8,543	5,410	693	4,718	2,527	387	218	5,599	2,944	161,281	10,724
2月	10,597	6,419	740	5,679	3,360	541	276	6,677	3,920	159,261	12,481
3月	25,573	15,485	1,912	13,573	7,633	737	1,718	16,096	9,477	163,125	21,566
4月	5,767	3,980	550	3,430	1,117	414	257	3,941	1,827	—	—

建設機械受注実績

(単位：億円)

年 月	'95年	'98年	'99年	'00年	'01年	'01年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'02年 1月	2月	3月	4月
総 額	12,464	10,327	9,471	9,748	8,983	676	608	670	667	723	987	649	695	688	682	680	930	640
海 外 需 要	3,602	4,171	3,486	3,586	3,574	331	256	266	247	287	317	243	284	324	332	380	398	356
海 外 需 要 を 除 く	8,862	6,156	5,985	6,162	5,409	345	352	404	420	437	670	406	411	364	350	340	532	284

(注) '95年~'97年は年平均で、'98年~'01年第2四半期は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査  
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査